

賛 助 会 員

理研食品株式会社 (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

株式会社KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事があります。ご投稿に際しましては、第 71 巻 1 号の p.30-33 に掲載されました投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票は日本藻類学会の WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) からダウンロードでき、論文通信担当編集委員の連絡先も WEB サイトで確認できます。現在は電子メールでのデジタルデータの投稿を受け付けていますので、投稿票は WEB サイトからダウンロードしてご使用ください。皆様のご投稿をお待ちしています。(編)

編集後記

73 巻 2 号ができました。昨年は和文誌を対象とした論文賞の設置に向けて編集委員の先生方と準備を重ねてきましたが、今年 2025 年 3 月に開催された沖縄大会の総会で、第 1 回日本藻類学会和文誌論文賞の受賞式が行われました。編集委員会で長年引き継がれてきた和文誌論文賞がようやく始まり、たいへんうれしく思います。本号には学会賞の受賞記を掲載していますので是非ご覧ください。編集委員長も 3 年目とな

り、藻類学に関わる多くの研究者や大学院生と連絡させていただいてきました。この 6 月に参加したフィリピン・ボホール (パングラオ島) での第 13 回国際藻類学会議では、和文誌編集を通してご活躍を見てきた何名かの若手研究者からも声をかけていただきました。メール連絡では顔が見えませんが、新たなつながりもできてきました。役得ですね。

(岩滝 光儀)

表紙 潮間帯に設置した人工基質の側面にアミジグサが生育した様子

制作者: 新井 高博 (北海道立総合研究機構稚内水産試験場)

制作者より: 2023 年 8 月から 10 月まで千葉県館山市のアミジグサ群落に人工基質を設置したところ、基質側面から匍匐した藻体が侵入する様子を観察できました。匍匐藻体は分子マーカーによって胞子体と判別され、同様の実験を行っても、いずれも側面から胞子体が侵入したため、胞子体の栄養生殖によってアミジグサ群落が維持されている可能性が示唆されました。わずかに数センチの基質の側面を撮影した非常に地味な写真ですが、アミジグサの栄養生殖の可能性を示すことができた写真です。